



システム製品を発売

◀共同開発者の(株)KCSが発売したシステム「らくレス」。LINEを利用して、手軽に職員への一斉連絡や回答・集計ができる。詳しくは右から



▶ハブのメンバーにシステムの完成を報告したオンライン会議(4月25日)



施設職員への迅速な伝達を実現

多様な視点が、現場のチャレンジを後押し

災害時の円滑な職員招集方法を考えていたところに声を掛けてもらい、すぐに実証試験に参加したんです。実際に使って意見を伝え、導入コストや個人情報、携帯性にも配慮した製品になりました。ハブで関わった大学や企業の方の視点は新鮮で、介護現場を良くしようと後押ししてくれるのを感じました。今後も、多様な視点や意見を得られる場に積極的に参加したいです。

デイサービスセンターまちだ園
管理者 高橋 弘和 さん



(株)プレテック・エヌ(西陵町)で仕事を教わるモンゴルの高専生(右)

企業のDX化・グローバル化へ 高度外国人材の 受け入れ進む

閩産業立地・人材課 ☎39・2228

また、長岡技術科学大学と学術交流をするベトナム・ハノイ工科大学の学生が1月に、ホーチミン市工科大学の学生が6月に来日。滞在中に市内企業で実習を行い、卒業後の進路選択に役立っています。市は今後も、専門的な技術や知識を持つ外国人材を呼び込み、市内企業の成長と国際競争力の強化に取り組みます。

ベトナムの学生との連携を拡大

モンゴル高専生の市内就業をJICAも支援
市は昨年、モンゴルの高等専門学校でITや機械工学などを学ぶ学生に、市内企業での就業体験の機会を提供しています。今回、この取り組みがJICA(国際協力機構)の「草の根技術協力事業」に採択されました。今後、長岡工業高等専門学校や国内外の機関と連携を強化し、事業を拡充。企業での実習やAI(人工知能)などを活用した教育プログラムを行い、長岡・モンゴル双方のDX*人材育成や企業の受け入れ体制を整備します。

*DX(デジタル・トランスフォーメーション)…デジタル技術を取り入れ、製品やサービスをより良く変化させること

異なる視点とIT技術で

介護現場の課題を解決

介護施設やIT企業など産学官金が連携し、新たな技術で介護現場の課題解決やビジネスの創出を目指す「長岡介護イノベーション・ハブ」。

ここで開発を進めてきた介護施設職員向けの情報伝達システムが4月、発売されました。職員が手薄な夜間の災害対応を課題とする現場の声で、迅速に職員の状況を把握した

いと開発をスタート。IT企業と協議を重ね、昨年6月の実証試験を経て製品化と現場への導入を実現しました。

7月にオープンするミライ

☎39・2402

ハード対策

水防活動、防災学習の拠点 水防センター

令和6年の開設に向け、信濃川河川事務所と市が連携して実施する長岡地区河川防災ステーション事業の一環として、信濃地区に整備を進めます。
閩河川港湾課 ☎39・2233



完成イメージ

安定した内水排除が可能に 寿町排水ポンプ場

令和6年の完成に向け整備が進んでいます。市内最大の排水能力を持ち、25mプールの水を40秒で排出できます。豪雨時、栖吉川の水位上昇でたまった下水道管の雨水を信濃川に排水。寿・蔵王地区の浸水被害を軽減します。
閩下水道課 ☎39・2235



←: 通常時
→: 増水時

水害から命・まちを守る

市は関連機関と連携し、市民の命を守るまちづくりや、もしもの時に備える取り組みを進めています。

ソフト対策

NEW 信濃川増水時の広域避難先

見附市4施設の駐車場が利用可能に

信濃川増水時の避難場所を確保するため、見附市と避難施設の相互利用協定を締結。車での避難場所を拡充しました。
車中避難場所=みつけイングリッシュガーデン(見附市新幸町、写真)、大平森林公園(同市内町)、見附運動公園(同市本町)、市民野球場(同市片桐町)
閩危機管理防災本部 ☎39・2262



水害時に消毒薬を配布します

感染症防止のため、被害を受けた住宅に消毒薬を配布します。
消毒薬=逆性石鹼液(600ml) 用途=床、壁、家具など屋内用 閩保健医療課 ☎39・2383

緊急時あんしんカード

名前・生年月日や健康状態、緊急連絡先を書いて自宅の冷蔵庫に貼り付けます。救急搬送時や避難場所で自分の情報を伝えることができます。
閩福祉総務課 ☎39・2217



フェニックスネット

かかりつけ医や緊急連絡先などの情報をあらかじめ登録。緊急時に救急隊員が確認し、素早い処置につなげます。
閩長寿はつらつ課 ☎39・2268、
消防本部警防課 ☎35・2169



▲電子申請はこちら

いずれもアオーレ長岡福祉窓口、長寿はつらつ課(さいわいプラザ内)、各支所地域振興・市民生活課(栃尾支所は市民生活課)などにある申込書で

日頃のしつけがペットを守る

突然の災害でパニックになり、いつもと違う行動を取る可能性があります。基本的なしつけやケージに慣れさせるなど、避難先での生活に備えましょう。
閩環境業務課 ☎24・2837



「いつもと違う」は土砂災害の可能性も

①長雨や大雨のとき②川の水、井戸水、湧き水の量が増えたり濁りだしたりしたとき③土地に亀裂が生じたときは、土砂災害の危険が迫っています。いつでも避難できるように準備してください。
閩河川港湾課、県長岡地域振興局治水課 ☎38・2629